

平成 26 年度 第 6 回理事会 議事録

開催日時：平成 27 年 2 月 20 日 18:30～

出席者：兼子、諏訪、浅野、藤井、柴、武藤、青木、松浦、関、大西、高崎、可児、
鈴木満、山岸、和田、多和田、鈴木敦、白井、森本、渡辺、太田

欠席者：近藤、帖佐、森

議長：兼子 徹

議事録：藤井

【連絡事項】

1 日臨技より

来年度都道府県助成金事業についての連絡

- ① 新入会員研修会助成金：本年と同様（1 万円＋500 円×新入会員数）。
- ② 生涯教育助成金
*2 万円＋500 円×参加者数（最大 60 名まで）。最大 20 研修会までに変更。
*検査説明については本年度と同様（平成 28 年度まで継続）
- ③ 検査と健康展助成金：本年と同様（50 万円）。
- ④ 総会委任状回収手数料：本年と同様（回収枚数 1 枚および出席者 1 名につき 50 円）
- ⑤ 標準化都道府県助成金：本年と同様（今後具体的な内容を提示）。
- ⑥ 基幹施設助成金廃止

との予算案の報告があった。

東京都がん検診センター細胞検査士養成所第 37 期生の募集案内

募集人数 12 名程度

受講期間 平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 10 月 30 日まで。

受講料金 56 万円・補講料 2.5 万円

の案内があり、各施設に案内を配布するとの報告があった。

黒住医学研究振興財団、細胞検査士養成所から「福見秀雄賞」・「小島三郎記念技術賞」の推薦のお願いがあった。

日臨技ホームページに輸血テクニカルセミナーの募集要項を掲載し、参加者募集案内のメールが届いた。指導者向けの講習会との意見があった。

【中部圏支部】

中部圏支部より検査説明・相談 実施状況に関するアンケート調査依頼があり、協力を依頼した。

【岐臨技】

6 月の定時総会の議案を理事会で承認をするため、5 月 22 日に理事会を行い、常務理事会を 5 月初頭にする変更を連絡した。議決権行使書の作成を庶務部長に指示した。

兼子会長より、平成 27 度一般社団法人岐阜県臨床検査技師会事業計画の説明があった。

昨年行った事業は引き続き行う。検査説明・相談ができる検査技師講習会は3年間行い、今年が2年目との報告があった。新人サポート研修会は平成27年度からは學術部の事業となるとの報告があった。新規に行う事業として、検査と健康展を11月もしくはその前後の週に行いたいとの報告があった。また廃止もしくは休止になる事業は今の所無いとの報告があった。

各部の事業計画を5月22日までに作成・提出し、庶務部にて取りまとめるよう依頼した。その後兼子会長が県へ提出する。

【岐阜地区報告】

秋季拡大研修会での市民公開講座のパティシエの所浩史についての説明があった。

【西濃地区報告】

平成26年10月19日に行われた平成26年度大垣市健康広場の決算書が提出され承認された。

西濃地区より第53回岐阜県医学検査学会の参加申し込みが3月2日から3月9日に延長の報告があった。

第53回岐阜県医学検査学会・理事会報告書説明があった。

11社の広告協賛があるとの報告があった。

一般演題数が1題増え19題になり、学会終了時刻が少し伸びるとの報告があった。

浅野副会長より西濃地区総会が昨日あったとの報告があった。

検体採取の受講料の1万円の根拠は何かとの問い合わせがあった。日臨技が儲けるために行っているのではとの意見があった。会計を明確にして欲しい。

兼子会長が1万円について問い合わせをしたら、講習会に1万円ぐらいかかるとの事で、決して設けていないとの返答であった。

日臨技の検体採取講習会は準備不足との意見があった。

非会員の方に検体採取の連絡はどうするのかなどの意見がでた。

MRI検査で4月の法改正で放射線技師は造影剤の設置、自動注入、針の抜去などができるようになったため、検査技師がMRI検査から排除されるのではないかと言う事が考えられ、日臨技はこの事に何か対策を立てて動いているのかなどの意見があった。またエコー検査においても造影剤を使用する時があるので、エコー検査も撤退する可能性があるとの意見があった。

【岐阜地区報告】

岐阜地区総会の報告が青木理事よりあった。

平成27年1月28日に松波総合病院にて、参加者19名、委任状194名で総会が行われた。内容は、岐阜市健康まつり、ブロック会議の進捗状況確認、今年度事業予定についての報告があった。

【學術部】

學術部事業計画（案）

各学会、拡大研修会、部門別研究班研修会をほぼ例年どおりに行う事業計画案に対して承認された。

【精度管理部】

精度管理事業計画（案）

多和田清田管理事業部長より次年度スケジュールの報告があった。

- ① JAMTQC 使用申請、公印登録作業申請（報告書も可能か確認をする）今年度中
- ② マスター登録、すべて管理者登録、試料名称決定 4月中
- ③ 精度管理調査案内文配布 5月20日
- ④ 受付期間 6月1日から15日
- ⑤ 2次募集 6月22日から7月6日
- ⑥ 設問締め切り 8月16日
- ⑦ 第1回会議（設問確認作業） 8月21日
- ⑧ 試料発送（岐阜市民病院） 8月30日
- ⑨ 回答締め切り 9月14日
- ⑩ 集計作業締め切り 9月23日
- ⑪ 一次評価公開 9月24日
- ⑫ 一次報告 9月下旬～10月初旬
- ⑬ 是正協力作業（C、D評価サポート） 10月中
- ⑭ 再入力期間 未定
- ⑮ 第2回会議（最終評価） 10月30日
- ⑯ 総括集原稿締め切り 11月29日
- ⑰ 総括集校正作業 12月1日、8日、15日
- ⑱ 総括集納品 12月18日
- ⑲ 最終評価、総括集、参加証の発送 12月下旬
- ⑳ 報告会スライド締め切り 平成28年1月24日
- ㉑ 報告会試料公開 平成28年1月25日
- ㉒ 報告会・第3回会議（次年度会議） 平成28年1月31日

精度管理の事業計画案が承認された。

多和田精度管理部長より平成26年度だい3回精度管理事業部議事録議事録について報告があった。

平成26年度日臨技精度管理報告会に岐臨技から多和田精度管理部長に出張に行ってもらうように会長から依頼があり承認された。

【組織調査部】

臼井組織調査部長より組織調査事業計画案について報告があった。

組織調査部事業計画（案）

日臨技の公益事業「検査と健康展」の開催 平成 27 年 11 月 29 日予定
市民健康まつり

平成 27 年度やさか福祉健康まつり

平成 27 年度高山市民健康まつり

平成 27 年度大垣市 市民の健康ひろば

平成 27 年度岐阜市健康まつり 平成 27 年 11 月 8 日

HIV・STI 予防に関する事業

大学での予防啓発活動（関連グッズ配布及び説明）

MSM を対象とした無料 HIV 検査会への参加（県保健医療課からの依頼）

岐阜県臨床検査技師会 組織実態調査

功労者表彰及び永年勤続者表彰対象者の選出

役員選任

組織調査部の事業計画案が承認された。

平成 26 年度無料 HIV 検査会事前スタッフ研修会 平成 27 年 1 月 9 日に臼井組織調査部長が参加したとの報告があった。講演内容は、受検者のアンケート結果からみた都会地域の HIV 抗体検査受検者の動向。

HIV 検査会のスタッフは、今まで女性がよいということであったが、アンケートの結果次回からは男性でも良い事となった。

平成 26 年度無料 HIV 検査会の受検者は 31 名、今年初めて陽性者 0 であった。非会員方に協力をしていただき、来年は会員の方に協力をお願いしたいとの報告があった。

県知事表彰者は該当者なし、功労者表彰は 3 名で 5,000 円程度の商品券を考えているとの報告があった。

永年勤続者は 187 名の該当者で 500 円の図書カードを考えているとの報告があった。

【広報宣伝部】

森本広報宣伝部長より報告があった。

広報宣伝部事業計画（案）

会報を月 1 回発行する。

広報宣伝部の事業計画案が承認された。

森本広報宣伝部長よりホームページのバナー広告についての提案があった。

茨城県でセキスイさんが月 3 万円でバナー広告を行っている。岐臨技として 1 ヶ月 3 千円ぐらいでバナー広告を募集し、ホームページの維持管理のために使用したいとの提案があった。兼子会長より前向きに考えて行きましょうとの意見があった。

会報を各施設に一部ですと、ほとんどの人が読んでいないので、会員全員に配布したほうが良いとの意見があった。また、岐臨技のホームページに会報が掲載してあるので、

会員のみなさんに積極的にホームページを活用して欲しいとの意見があった。

【法人対応部】

鈴木法人対応部長より報告があった。

法人対応部事業計画（案）

平成 27 年度定時総会にて、平成 26 年度決算が承認されたのち、速やかに公益目的支出計画実施報告書を電子申請にて行い、県医療整備課と連絡をとり修正していく。一般社団法人移行時における

公益目的財産学 13,367,094 円

公益目的支出計画実施期間 13 年間

（平成 26 年 7 月 1 日通知）

法人対応部の事業計画案が承認された。

鈴木法人対応部長より法人対応部は、公益目的支出計画実施報告を年 1 回するぐらいです。今後どうするかを会長と相談しながら決めていきたいとの報告があった。

【会計部】

柴会計部長より平成 26 年度中間決算について報告があった。

正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録についての報告があった。

平成 26 年度の中間決算について承認された。

平成 27 年度予算案

経常費用は事業費と管理費にわかれていて、管理費は理事会、総会など当会の運営費となっており、その他がすべて事業費となっているとの報告があった。

平成 26 年度の予算額には、平成 25 年度に発行されなかった会員名簿が加算されているとの報告があった。

前年度と差額が大きい事業としては、経常収益では、公益事業助成金が廃止の可能性が高いので、収益が 0 になっているとの報告があった。

その他助成金は検査と健康展の事業の助成金をみこして増額されているとの報告があった。

経常費用の事業費の所で、岐臨技の永年表彰のため増額されているとの報告があった。

ホームページ維持費は、プロバイダーの移行費用が 27 年度は不要のため減額、会員名簿が発行されないため減額との報告があった。

経常費用の管理費の所で減価償却費は平成 26 年度の実績に合わせて減額されているとの報告があった。また予算は多めに見積もってあるとの報告があった。

資料館の費用は掃除代との報告があった。

【庶務部】

藤井庶務部長より報告があった。

平成 27 年度庶務部事業計画（案）

庶務部及び事務員の業務


- 1 研修会・連絡事項等の発送（毎月 20 日）。
- 2 常務理事会・理事会の開催案内送付（メールにて）。
- 3 事務所仕様の管理。
- 4 日臨技・各種団体・会員よりの問い合わせ等に対応。
- 5 各種の書類管理。
- 6 議事録の作成。
- 7 会費管理に関する事項の対応。
- 8 各地区の健康祭り参加申請書の対応。
- 9 定期総会出席者の日臨技生涯教育研修制度への登録。
- 10 定時総会の取り仕切り。
- 11 総会関連の議決権行使書の作成。
- 12 マンション管理組合総会への出席。


庶務部事業計画案が承認された。

【その他】

理事の方が退職または移動になった場合は、現在定款上理事 20～25 名となっているので、そのまま残り地区理事 2 名で行っていくか、代理をたてて行う。登記上は、名前が残っている。もし何かあった場合責任は降りかかってくる可能性があるとの説明があった。

理事を交代するには総会で承認を得て、法務局へ手続きに行かなければならない。

議長 藤 子 徹 

議事録署名人 渡 辺 新 司 

議事録署名人 太 田 義 和 